事務事業調書(			<b>後評価</b> )							
事務事業名	市民協	3働推進チース	ム事業			事業開	開始年度 令	·和 2年度		
担当課	総合政	(策部 総合)	<b>汝策課</b>		担当者	尚	田慎			
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】								
	政策	01	市民とともに	こ築く自立	した行財政					
総合計画体系	施策	01			れるまちづく	りの推進				
	基本事	業 01	市民と行政の	の協働の体	制づくり					
事業の目的			に対応するためし							
争未の日的	要がある。そのため職員の協働意識を高めることが肝要であり、そのスキルを習得する。									
事業の概要	入庁10	入庁10年以下の職員を対象に公募し、2年任期で事業を展開する。内容は協働に関する勉								
			<u>·ション研修、市</u> B	民や企業と	の協働の事業	提案・実施等	0			
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	1年度			度		年度		
事業費の推移	実統	責/当初予算		実績実				当初		
		総事業費	0		5	1	三利 59			
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	指:	標名称	単位	1年度	2年度	3年度	4年度		
	区分	14	NY 10 101	<b>—</b>	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	活動	チームミーティ	ング開催数			11回/12回	12回	12回		
10 100 10 10	,,,,,,	, _, , ,	- 7 100 112 200			•••		1-11		
	== /T	- 144			=	<u> </u>				
\+ - <del>\</del> -\-	評価		概ね達成した(					51 a <del>1 -</del> 1 1 4 1		
達成度の	=>/ ==		ナウイルス感染症							
評価と説明	『価と説明 │ 説明 │限を余儀なくされたが、概ね予定どおり事業を実施し、一定の活動成果を得られた。							られた。		
日本上人出	70		12.目古上古华 4	<u> </u>	· 7 48++*n+=	ほぶぶ 声 へ	<u> Дын +&gt; 1</u>			
見直し余地	判定		に見直し可能の	<u>し</u> 未地はめ	るがまだ時間	ョル必安 〇	<u>余地なし</u>			
		Action) ]	日本にはより口を座を生	○広山	ウマ					
事業の方向性 資源方向性	〇兄但 予算		見状どおり継続 、●現状 〇縮小	<u> </u>	元「 業務量		現状 〇縮小			
	1 -7-F	<b>= 2H I( ) ∑I)</b> →		`	1 羊 ※ 🖶	○│○拡大	■ + ロッス ( ) 糸店 /	\ \		

事務事業調書(	通常評	価事業 事後	<b>と評価</b> )						
事務事業名	さくら	市市民活動即	力成事業				月始年度 平	成17年度	
担当課	総合政	双策部 総合政	<b>女策課</b>		担当者	尚	田慎		
■事業の執行計									
	政策	01	市民とともに						
総合計画体系	施策	01			れるまちづく	<u> りの推進</u>			
		基本事業   02   市民活動の活性化							
事業の目的	市民が自主的に活動する公益性の高い活動に対し財政的支援することで、協働の基礎とな								
サネのロリ		:活動の活発化							
事業の概要			行う公益性の高い					域コ	
	ミュニ	ティ、アイデ	ィアの5部門)(	<u>こ対し、助</u>	成金を交付す	る。〔公募・	審査会〕		
■事業実施結果	【実施	_							
		年度	1年度					年度	
事業費の推移	実績/当初予算		実績		実績		当初		
		総事業費	1, 703		5	69	2,	728	
■前年度の事業	■前年度の事業分析【評価(Check)】								
	指標	指	票名称	単位	1年度	2年度	3年度	4年度	
	区分				実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	成果があがった の数×100	事業の数/助成事業	%	100	100	100	100	
	成果	助成事業の数		件	7	4	11	11	
	評価	i ○達成、	概ね達成した (	○多少は遺	Ē成した ●i	達成できず			
達成度の		新型コロフ	ナウィルスの感染	:拡大防止の	Dため、後期薬	募集はせず減額	質補正を行っ?	た。また、コ	
評価と説明 説明 □ナの影響で実施できなかったイベントがあったため。(返還あり)									
見直し余地	判定		に見直し可能(	<u>つ余地はあ</u>	5るがまだ時[	間が必要 〇	余地なし		
	710	Action) ]							
事業の方向性			見状どおり継続_	〇廃止・	, o :	10111			
資源方向性	性   予算額  ○拡大 ●現状 ○縮小   業務量  ○拡大 ●現状 ○縮小								

事務事業調書(	通常評	価事業 事後	()						
事務事業名	ボラン	・ティアポイン	ノト制度事業			事業開	開始年度 □ 平	<sup>2</sup> 成29年度	
担当課	総合政	(策部 総合政	女策課 二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二		担当者	岡	田慎		
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】				<u> </u>			
	政策	01	市民とともに	こ築く自立	した行財政				
総合計画体系	施策	01	市民ネットワ	フークあふ	れるまちづく	りの推進			
	基本事	業 02	市民活動の流	舌性化					
古米の口的	公益的	公益的なボランティア活動を行う市民等を奨励及び支援を図り、まちづくりの担い手とし							
事業の目的	て市民	活動への参加	を促進する。						
申業の指用	ボラン	ティア活動を	行う市民等にポー	イントを付	与し、既定ポ	イント数に達	した場合に物	<b>勿</b> 品	
事業の概要	等に還	元することで	活動の励みをもた	たらし、ま	た、活動を開	始する契機と	なるよう促す	t.	
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	1年度		2年	度	3	年度	
事業費の推移	実績/当初予算		実績		実	績	Ì	当初	
	ś	総事業費	107		88		191		
■前年度の事業	業分析【評価(Check)】								
	指標	+64	票名称	単位	1年度	2年度	3年度	4年度	
	区分	181	宗石 你	中位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	登録ボランティ	マ粉	人	266	275	290	300	
担保の推修	八木	豆琢パノファイ	<b>了</b>		200	273	290	300	
	成果	付与機関数		団体	28	30	35	40	
							33	40	
	評価			○多少は遠		達成できず			
達成度の			<b>ノティア数は市民</b>						
評価と説明	説明		<sub>ン</sub> かしながら新型						
一田 に 元 9万	ロルツ	か起つ(し	いる。また、登録	ホボランティ	ィア付与機関も	も中々増加して	ていかないと	ころが課題と	
		言える。							
見直し余地	判定		に見直し可能 (	<u> </u>	るがまだ時間	間が必要 〇	<u>余地なし</u>		
	<u> </u>	Action) ]							
事業の方向性			<u> 現状どおり継続</u>						
資源方向性	予算	早額  ●拡大	:〇現状 〇縮小	١	業務量	: □●拡大(	D現状 〇縮/	'J\	

事務事業調書(	通常評	価事業 事後	<b>後評価</b> )					
事務事業名	市民活	動支援センタ				事業開	開始年度 令	和 2年度
担当課	総合政	(策部 総合政	<b>发</b> 策課		担当者	前	田慎	
■事業の執行計								
	政策	01	市民とともに					
総合計画体系	施策	01			れるまちづく	りの推進		
	基本事		市民活動の流					
事業の目的			活動を支援する				し、活力ある	地
予末の口口		域社会の実現に寄与するため市民活動支援センターを設置する。						
事業の概要		市民活動の拠点(会議室、コピー機、メールボックス等)、コーディネーターによる相談						
			センター主催講座	座の実施等				
■事業実施結果	【実施	_				<del>.</del>		
		年度	1年度		2年		3年度 当初 0 3年度 当初 1 0 3年度 4年度 計画 計画 2,400 2,40	
事業費の推移		責/当初予算	実績		実績			
<b>=</b> + = +		総事業費	0		5, 8	98		0
■前年度の事業		<u>評価 (Check)</u>	) ]		1 /= ===	0 /= #=	0/5 (5	4 左 広
	指標	指相	票名称	単位	1年度	2年度		
	区分				実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果	センター利用人	数	人		1, 993	2, 400	2, 400
	成果	センター登録団	<b>体</b> 数	団体		40	50	60
	774714						00	00
, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	評価		概ね達成した(			達成できず		
達成度の			こおいては充分な					
評価と説明 説明 □の利用が多かったことも否めない。よって、純粋にセンター利用者を増やしていく必								ていく必要が
	ある。   判定   ○数年内に見直し可能   ○余地はあるがまだ時間が必要   ●余地なし							
見直し余地	<u>  判定</u>		に見但し可能 (	<u> </u>	うるかまた時間	前か必要 ●	余地なし	
		Action) ]	日本によいしから	<u> </u>	ウマ			
事業の方向性								
資源方向性	予算	早額 ● 丁孤大	、〇現状 〇縮小	١	業務量	:  ●拡大 C	)現状 〇縮小	\

1 100 1 VIVE 1			()						
事務事業名	地域娟	引人会育成補助	力事業			事業界	開始年度 平	-成17年度	
担当課	教育委	長員会 生涯学	智課		担当者	渡	<b>邉典子</b>		
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】							
	政策	01	市民とともに						
総合計画体系	施策	01	市民ネットワ	フークある	へんるまちづく	(りの推進			
	基本事	基本事業 03  地域コミュニティ活動の活性化							
事業の目的		明るく住みよいまちづくりに寄与するために活動するさくら市地域婦人会に対し財政的に							
争未の日的	支援を	行う。							
事業の概要	女性の	)学習活動の推	進、まちづくりた	<b>品力活動に</b>	対し補助金に	よる支援を行	う。		
■事業実施結果	【実施	i (Do)							
		年度	1年度		2年	度	3:	年度	
事業費の推移	実終	漬/当初予算	実績		実	績	<u>\</u>	当初	
		総事業費	106		1	06		106	
■前年度の事業									
	指標	+6+	票名称	単位	1年度	2年度	3年度	4年度	
	区分	1日1	宗 位 你	中世	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	活動	活動日数		l B	68	29	30	50	
10 100 00 10 10	1,1,2,3	11-27-24		-					
	成果	会員数		人	37	37	37	37	
	=== /=			A 1. 14.15		<u> </u>	<u> </u>		
	評価			●多少は追		達成できず	/ > <del></del>		
達成度の		感染症の抗	広大により活動に	制約か課	される状況では	あつたか、さく	くら巾婦人会	においては、	
評価と説明	説明		習活動の推進、各						
							なび社会教育	の振興か凶ら	
日古し合地	如豆	れた。	1. 目古上 寸处 /	<u> </u>	- フ ムシ ++ + * n± E	<b>田北沙市</b> ▲	<u> Дин +</u> > I		
見直し余地 ■将来方向性【	判定		に見直し可能(	シ 未地はる	るがまだ時間	則が必安 ■	余地なし		
		(Action)	日本 じょい 日 6座 6年	○虚止	ウフ				
事業の方向性			見状どおり継続	<u> </u>		. I∩±±± <b>4</b>	田仆 〇烷,	ls	
資源方向性	了!	算額   〇拡大	、●現状 〇縮小	1	業務量	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	●現状 〇縮/	١,	

事務事業調書(	通常評	福事業 事後	<b>後評価</b> )					
事務事業名	地域=	コミュニティ流	舌性化事業			事業開	開始年度 平	成17年度
担当課	総合政	文策部 総務認	<b>果</b>		担当者	<b>十</b>	坂 厚一	
■事業の執行計		·画(Plan)】						
	政策	01	市民とともに					
総合計画体系	施策	01			れるまちづく	りの推進		
	基本事	第業 03	地域コミュニ	ニティ活動	の活性化			
事業の目的	6. 区長同士の情報交換が数多くなされる							
サ未の日町			活動)が活発にな					
事業の概要			会を開催・県自治					動に
			・行政区の事務額	費及び掲示	板の修繕等に	対し補助を行	う。	
■事業実施結果	【実施							
		年度	1年度			度		₣度
事業費の推移		責/当初予算	実績			績	当初	
		総事業費	91		2, 4	82	2,	640
■前年度の事業分析【評価 (Check) 】								
	指標	指	漂名称	単位	1年度	2年度	3年度	4年度
	区分	101	W. FI J.J.	<b>—</b>   —	実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果	さくら市区長会	の実施事業数	回	24	11	20	
	成果	活動が行われて (年度末に調査	いる行政区の割合	%	100	100	100	
	評価	□○達成、	概ね達成した(	●多少は遺	i 成した Oi	達成できず	•	•
達成度の			舌動については、				長 (行政区長)	の成り手不
評価と説明								
	発にする必要性あり。							
見直し余地	判定		に見直し可能(	●余地はあ	5るがまだ時間	間が必要 ○	余地なし	
■将来方向性【		(Action)						
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・				
資源方向性	予算	算額 〇拡大	、●現状 〇縮小	·	業務量	○拡大	●現状 ○縮小	١

事務事業調書(	通常評価	五事業 事後	(評価)					
事務事業名	さくらす	市区長会事業				事業開	開始年度 平	成17年度
担当課	総合政策	策部 総務認	<b>R</b>		担当者	寺:	坂 厚一	
■事業の執行計								
	政策	01	市民とともに					
総合計画体系	施策	01			れるまちづく	<u> りの推進</u>		
	基本事業	集 03	地域コミュニ	<u>- ティ活動</u>	<u> の活性化</u>			
事業の目的	さくら市	万区長会の活	動が活発になる					
事業の概要			るさくら市区長会					る
	<u>さくら</u> す		費等補助金交付	要綱に基づ	<u>きさくら市区</u>	長会に運営費	<u>補助を行う</u>	
■事業実施結果		(Do) ]					1 0.5	
+ ** # 0 14.75		年度	1年度			· 度		F度
事業費の推移	実績/当初予算		実績		実績		当初	
■☆左広の古巻		事業費	155		1;	55	13	88
■前年度の事業		平価 (Check)			1左曲	0左曲	りた曲	4左曲
	指標	指	票名称	単位	1年度  実績	2年度	3年度 計画	4年度 計画
	区分				<del>大</del> 棋	実績	前凹	司四
指標の推移	成果実	<b>ミ施事業数</b>		回	24	11	20	
	評価		既ね達成した (					
達成度の			「区長会に補助金					
評価と説明	説明	会連合組約	<b>戦との情報交換が</b>	盛んとなり	り、ひいては、	各自治会(行	厅政区)活動 <i>た</i>	が活発になる。
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (	●余地はあ	るがまだ時間	間が必要 〇	余地なし	
■将来方向性【		ction) ]						
事業の方向性	●見直し		見状どおり継続	〇廃止・	, o ;			
資源方向性	予算	額 〇拡大	:●現状 ○縮小	1	業務量	○拡大	●現状 〇縮小	

事務事業調書(			(全)						
事務事業名	自治公	民館事業				事業開	開始年度 平	<sup>2</sup> 成22年度	
担当課	教育委	員会 生涯学	学習課		担当者	君	島真彦		
■事業の執行計		画(Plan)】							
	政策	01	市民とともに						
総合計画体系	施策	01	市民ネットワ			くりの推進			
	基本事	業 03	地域コミュニ	ニティ活動	の活性化				
事業の目的	地域の	人々が自治公	民館を活動拠点の	として、地	域愛をテーマ	とした自主的	・主体的な学	学習	
争未の日的	活動を行う自治公民館が増える。								
事業の概要	自治公民館に、郷土史や自然保護、家庭教育等の指導者を派遣することで、地域の学校と								
			動を定着させる。	)					
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	1年度			F度		年度	
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実績		当初		
		総事業費	0			0 55			
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	指	票名称	単位	1年度	2年度	3年度	4年度	
	区分	181	<b>未</b> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	丰匹	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	活動		の地域活動を行う	団体	0	0	2	2	
1日1次 マン1正19	70 30	グループ数		121 PT		Ů	_	2	
	== /=		[n <del>n</del> ] >+ -	0.4	- 5	+			
, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	評価				<u> </u>				
達成度の			トウイルス感染症	の影響に。	より実施がで:	きなかった。			
評価と説明	説明								
	100	1 O W 5 -		• A 111.7.1.4	. 7 18-4 18-41		A 1.1. 4. 1		
見直し余地	判定		に見直し可能(	●余地はあ	るがまだ時	間か必要 ○	<u>余地なし</u>		
	7 T \	Action) ]	1.15 18 45 (1.6b) 5+	O = 1	<b></b>				
事業の方向性			現状どおり継続	〇廃止・					
資源方向性	7向性 】 予算額 【○拡大 ●現状 ○縮小       業務量 【○拡大 ●現状 ○縮小								

事務事業調書(			<b>後評価</b> )						
事務事業名	自治生	民館運営補助	力事業			事業開	開始年度 平	成22年度	
担当課	教育委	員会 生涯等	学習課		担当者	君	島昌彦		
■事業の執行計									
	政策	01	市民とともに						
総合計画体系	施策 01 市民ネットワークあふれるまちづくりの推進								
	基本事		地域コミュニ						
事業の目的	自治公	民館活動を衰	退させないように	こ地域を支	援することで	、自治会の活	性化を促す。		
事業の概要		ミュニティの 活動の援助を	活性化をめざし <sup>-</sup> 行う。	て、自治公	民館組織に対	して補助金を	交付し、各自	治	
■事業実施結果		(Do)	13 2 0						
		年度	1年度		2年	- 度	34	年度	
事業費の推移	実績/当初予算		実績		実	績	뇔	<b>当初</b>	
		総事業費	1, 687		1, 6	89	1,	704	
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	指	漂名称	単位	1年度	2年度	3年度	4年度	
	区分	111	未입기가 	+12	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	市内で活動して 織の割合	いる自治公民館組	%	100	100	100	100	
	評価	<b>」</b> ●達成、	概ね達成した(	○多少は遺	成した 〇	達成できず	•	•	
達成度の 評価と説明	各自治公民館長の理解のもと60自治公民館に運営補助金を交付することができた。 説明								
見直し余地	判定	〇数年内	に見直し可能(	●余地はあ	るがまだ時間	間が必要 〇	余地なし		
■将来方向性【		(Action)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
事業の方向性	〇見直		見状どおり継続	〇廃止・					
資源方向性							●現状 〇縮小		

事務事業調書(			(幹価)							
事務事業名	自治公	民館連絡協調						平成21年度		
担当課	教育委	員会 生涯等	智課		担当和	君	島昌彦			
■事業の執行計										
	政策	01	市民とともに							
総合計画体系	施策 01 市民ネットワークあふれるまちづくりの推進									
		基本事業 03 地域コミュニティ活動の活性化								
事業の目的	自治公	·民館活動を活	発化し、地域の決	舌性化を図	る。					
事業の概要			性化を支援するが館長合同研修に		議会に対し活	動費を支援す	る。			
■事業実施結果		(Do)		<u>хш</u> ,						
	年度 1年度				24	<u> </u>		3年度		
事業費の推移	費の推移 実績/当初予算		実績				当初			
		総事業費	146		1	46		146		
■前年度の事業	■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	指	票名称	単位	1年度	2年度	3年度	4年度		
	区分	161	<b>未</b> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	辛匹	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	活動	協議会の会員数		人	60	60	60	60		
	評価	」●達成、	既ね達成した(	○多少は遺	を成した O:	達成できず	•			
達成度の		協議会の	会員数が自治公民	館数と同刻	数のため達成:	できた。				
評価と説明	説明									
見直し余地	判定	〇数年内	に見直し可能(	〇余地はあ	るがまだ時	間が必要 ●	余地なし			
■将来方向性【		Action) ]	· · · · · · · · ·							
事業の方向性	〇見直		見状どおり継続	〇廃止・				_		
資源方向性	予算額  ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量  ○拡大 ●現状 ○縮小									

事務事業調書(	通常評	価事業 事後	()						
事務事業名	自治公	民館建設補助	力事業			事業開	引始年度 <sup>[3</sup>	F成21年度	
担当課	教育委	員会 生涯等	学習課		担当和		島昌彦		
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】							
	政策	01	市民とともに						
総合計画体系	施策	01			れるまちづく	くりの推進			
	基本事		地域コミュニ						
事業の目的	地域コ	ミュニティの	拠点を整備する。	ことによっ	て、地域の活	性化を図る。			
事業の概要	自治公民館の新築・修繕に際し、補助金を交付する。(経費の30%。千円未満切捨て。)								
争未の似安			円。修繕:上限	100万円	0				
■事業実施結果	【実施	(Do) ]							
		年度	1年度			F度		年度	
事業費の推移	実統	責/当初予算	実績		実績		当初		
		総事業費	1, 032		5	08		512	
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	指	票名称	単位	1年度	2年度	3年度	4年度	
	区分	10.1	* 11/10	+12	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	補助金を交付し	た公民館数	館	4	3	4	4	
	評価	「 ●達成、	既ね達成した(	○多少は遺	■成した ○	達成できず			
達成度の		修繕を予え	としていた3館に	補助金を交	付できた。				
評価と説明	説明								
見直し余地	判定	? 〇数年内	に見直し可能(	○余地はあ	5るがまだ時	間が必要 ●	余地なし		
		Action)		,		· · · · · · · · ·	.,. 5 5 5		
事業の方向性		し継続 ●理	見状どおり継続	〇廃止・	完了				
資源方向性			. ●現状 〇縮小	١	業務量	○拡大	見状 ○縮	<b>/</b>  \	

事務事業調書(	通常評	福事業 事後	<b>後評価</b> )							
事務事業名	地域よ	こし協力隊員	員募集事業			事業開	開始年度	平成28年度		
担当課	総合政	文策部 総合政	<b>汝策課</b>		担当者	南南	部に志			
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】								
	政策	01	市民とともに	こ築く自立	した行財政					
総合計画体系	施策	01			れるまちづく	りの推進				
	基本事	第業 03	地域コミュニ	ニティ活動	の活性化					
車業の日的	人口減	少や高齢化が	進行するなかで、	地域社会	貢献に意欲の	ある都市住民	を採用し、	地域		
事業の目的	協力活動に従事してもらい、地域力の維持・強化を推進する。									
中米の恒田	効果的な募集告知活動を積極的に行い、優秀な人材を採用する。									
事業の概要										
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	1年度			度		3年度		
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実績		当初			
		総事業費	0		(	)		<u>当初</u> 0		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	塩	漂名称	単位	1年度	2年度	3年度	4年度		
	区分	161	<b>未</b> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	平位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	地域おこし協力	<b>隊員</b> 広莫 <b>老</b> 数	名	1	0	2	2		
コロコホマノコエコタ	/A/A	26-36 to C (m) 73	<b>冰</b> 兵心势	711	•	0				
	評価		概ね達成した(			達成できず				
達成度の			2名で募集を行っ					売き、利用者の		
評価と説明	明 説明 多い効果的な媒体を利用した募集の告知・周知を継続して実施していく。									
見直し余地	判定		に見直し可能(	〇余地はあ	るがまだ時間	間が必要 〇	<u>余地なし</u>			
	71 -	(Action) ]	5 16 18 L. (1705)							
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・						
資源方向性	予算	算額   〇拡大	、●現状 ○縮小	١	業務量	○拡大	●現状 〇縮	小		

事務事業調書(	通常評	価事業 事後	()						
事務事業名	地域運営組織支援モデル事業					事業開始年度 令和元年度			
担当課	総合政策部 総合政策課				担当者    岡田 慎				
■事業の執行計									
総合計画体系	政策 01 市民とともに築く自立した行財政								
	施策 01 市民ネットワークあふれるまちづくりの推進								
	基本事業 03 地域コミュニティ活動の活性化								
事業の目的	地域の課題解決できる地域コミュニティの形成を図るため「地域運営組織」が立ち上がる								
争未の日町	ことを財政的に支援することを目的とする。								
事業の概要	市内における人口減少が著しい地区について【通学区域(熟田小、喜連川小、鷲宿小、河								
	戸小、金鹿小、穂積小)】を対象とする補助制度である。								
■事業実施結果	【実施	(Do) ]							
		年度	1年度		2年度		3年度		
事業費の推移	実績/当初予算		実績		実績		当初		
	総事業費 1				0		200		
■前年度の事業		評価 (Check)							
	指標	指	票名称	単位	1年度	2年度	3年度	4年度	
	区分	10.1	* 'LI 10'		実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	助成事業の数		件	1	0	2	2	
10 100 10 10	7,70,71	-33774 - 71.00 32				<u> </u>		_	
	== /=	- 10 1+ -1	Int I >+ I			+			
\ <del></del>	評価 ○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず								
達成度の	新型コロナウィルスの影響で、「こうと会」は活動を自粛し、補助を受けるに至らなかっ								
評価と説明	説明   た。								
	7/11 -4	1 <u>0 ** 左 *</u>		<u> </u>	. 7 /8 L\n+F		A 111. 4s. 1		
見直し余地									
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性   ○見直し継続   ●現状どおり継続   ○廃止・完了   資源方向性   予算額   ●拡大   ○現状   ○縮小   業務量   ●拡大   ○現状   ○縮小									
	向性   予算額  ●拡大 ○現状 ○縮小   業務量  ●拡大 ○現状 ○縮小								

事務事業調書(	通常評	価事業 事後	(全)							
事務事業名	市有バス運行事業   事業開始年度   平成26:						成26年度			
担当課	総合政	合政策部 財政課				野	﨑 祐希			
■事業の執行計										
	政策	01		市民とともに築く自立した行財政						
総合計画体系	施策	01	市民ネットワークあふれるまちづくりの推進							
	基本事業									
事業の目的	市職員、議会議員、市関係団体の事業及び研修等の交通手段を確保し利便性を図るため、									
サ未の日町	市が所有する2台のバスを活用する。									
事業の概要	使用所管課の申請に基づき、財政課にて許可を行いバスの貸出を実施									
	事業対象バス 2 台の修繕等の維持管理を実施									
■事業実施結果	【実施	(Do) ]								
		年度	1年度		2年度		3年度			
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実績		当初			
		総事業費	1, 118		2, 242		3, 624			
■前年度の事業		(評価 (Check)								
	指標	<b>培</b> :	票名称	単位	1年度	2年度	3年度	4年度		
	区分	101	<b>ѫ ጊ</b> ነጥ	+12	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	バス2台の貸し	出上同数		218/250	69/90	30			
1日1次 マン1正19	/ <del>*</del> /*	, ,,, Z L O	шошя		210/200	00/00	00			
			10m 1 set 12 s			- D - L IS				
	評価 ○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず									
達成度の	令和2年9月末をもって福祉バスの運行が終了したため利用回数が減少した。									
評価と説明	説明 新型コロナの影響により公共、団体への貸し出し件数が減少した。									
	大規模修繕が発生しなったことから修繕費を抑制することができた。									
見直し余地										
		(Action) ]	7 16 18 1. (1.46.64							
事業の方向性 ●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了										
資源方向性	予算	算額  〇拡大	:○現状 ●縮小	\	業務量	□□□拡大	現状 〇縮小	١		

事務事業調書(	通常評	価事業 事後	<b>後評価</b> )						
事務事業名	市バス運行管理業務委託事業   事業開始年度   平成19年度							成19年度	
担当課	総合政	文策部 財政語	果	担当者	野	﨑 祐希			
■事業の執行計									
総合計画体系	政策								
	施策 01 市民ネットワークあふれるまちづくりの推進								
	基本事業   99   総合事業								
事業の目的	市が所	市が所有するマイクロバスの運行業務を民間事業者に委託し、効率的な運行を行うことを							
サ未の日町	目的とする。								
事業の概要	民間事業者に対し、マイクロバスの運行(団体貸出・福祉バス)及び中型バス臨時運転を								
	委託することにより、常時運転手を確保しバスの安定運行に寄与する。								
■事業実施結果	【実施	(Do) ]							
		年度	1年度		2年度		3年度		
事業費の推移	実績/当初予算		実績		実績		当初		
	<b>総事業費</b> 1, 2				601		0		
■前年度の事業		(評価 (Check)	) ]	•					
	指標	指	標名称	単位	1年度	2年度	3年度	4年度	
	区分	111	NY TO THE	<b>—</b>   <b>—</b>	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	活動	運転手派遣回数	,	l B	126/150	53/50			
10 100 10 10	70 23	ZHZ I MAZILIA	•						
	==: /=					<u> </u>			
***	評価 ●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず								
達成度の	マイクロバスの定時運行(福祉バス)が予定どおり実施された。								
評価と説明	説明   公共・団体への貸し出しについては、新型コロナの影響により減少した。								
日本1人地									
見直し余地									
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性									
資源方向性	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ●拡大 ○現状 ○縮小								